

## 来訪者と地域の接点「案内所」が「足」型観光のガイド役を担う

NPO法人まちづくり観光機構理事長

野々山 桂

まちづくり観光機構(以下、略称の「まちあい」)は03年4月に任意団体として設立、同年12月東京都の認証を得て特定非営利活動法人(NPO法人)となった。私を含め理事全員が、トラベルジャーナルが00年に開いた「旅行産業経営塾(山田学塾長)の卒業生という旅行業関係者が中心のNPO法人である。東京でも人気の街のひとつ吉祥寺(武蔵野市)で、観光の視点を持って地域活性化のお手伝いをしている。

吉祥寺は井の頭公園やジブリ美術館(いずれも三鷹市)から至近とはいうものの、一般に「観光」をイメージするものはほとんどなく、大型バスの駐車場もないことから旅行業者のツアーの目的地とされることはほぼない。観光協会もなく、武蔵野市役所に観光が名称に付く部署もない。人気がある街だが、前号で述べた「バス」型の観光地にはなり得ない。しかし、「足」型、「歩く」型の観光、言い換えれば個人旅行型の観光に挑戦するにはうってつけの場所である。

まず、取り組んだのが「吉祥寺の歴史を学ぶ会」。毎月1回、さまざまな視点から地域の歴史を語ってくれる講師を招いての勉強会である。観光とはすなわち地域の「光」を「観る」もの。「光」となるものはその地域の歴史の中にこそあるという発想である。

現在の主事業は、「吉祥寺まち案内所」の受託運営である。吉祥寺の13の商店会、3つの大型店、商工会議所などからなる「吉祥寺総合案内所運営委員会」から1カ月29万4000円で委託されている。元旦以外の年間364日、毎日午前11時から午後7時までオープン。「吉祥寺コンシェルジュ」と呼ぶボランティアが71名登録していて、1回2名ずつ、3時間交代で案内業務を行っている。「吉祥寺まち案内所」「吉祥寺コンシェルジュ」は大きな話題となり、テレビ、新聞、ラジオなどのメディアで度々取り上げられ、まちあいの名を地域に浸透させてくれた。では、なぜ案内所が観光なのであるのか。「バス」型では添乗員やバスガイドがいるが、「足」型ではそれに代わるのが「地域の案内所」であると考えている。来訪者と地域の接点となり、来訪者のさまざまな疑問や要望に応えるのが案内所の役割だ。「主観的な情報を発信しても良い」など特徴のある運営をしている。

そして、次の柱として準備しているのが「まちのツアー」で

ある。最大6名程度の来訪者をガイドが案内する吉祥寺発の吉祥寺のツアーである。最大の観光資源は「人」であるとの考えから、本年9月から「吉祥寺エンタープリター養成講座」を開始した。エンタープリターとはエコツーリズム等という「エンタープリター」と、来訪者を楽しませることが重要との観点から「エンターテイナー」を組み合わせた造語である。この講座は東京都観光部の「観光まちづくり東京プランナー塾」のフォローアップ講座にも認定され、東京の各地で観光の切り口でまちづくりに取り組む皆さんの力を借りて運営している。06年には実際にツアーの催行を開始したいと考えている。

この他、「子どもと楽しむ吉祥寺マップ」「ペットと楽しむ吉祥寺マップ」などテーマ別の地図を作り、「吉祥寺本町二丁目調査隊」「吉祥寺看板ペット調査隊」「吉祥寺美容室調査隊」などの調査隊事業、現在は廃れてしまったかつての家庭のおやつ「うでまんじゅう 茹で饅頭」復活運動などさまざまな活動を行っている。

とはいえ、吉祥寺コンシェルジュというボランティアや地域内外の多くの人々の力を借りながらも、本年度で実質約100万円の赤字であり、私の本業からの寄付金で収支を均衡させているのが実情だ。専従職員の人件費がその主な要因である。事業型を目指している以上、収支が赤字では完全に落第である。まちのツアーや、案内所以外の施設の受託事業でNPO法人設立3年目である来年度はなんとかとも黒字化しなければならない。

最後にまちあいの「案内所=i」運営の基本理念をご紹介します。

～ 風の人には微笑を 土の人には安らぎを ～  
 風の人というのが来訪者 土の人というのが居住者  
 「i」が「i」を訪ねた方に与えるべき最も大事な「情報」は  
 来訪者の方へは「微笑」すなわち わたしたちは  
 「ようこそ」という気持ちを持っています という「情報」です  
 居住者の方へは「安らぎ」  
 安心してまちを楽しんでいただきたいという  
 気持ちを持っている という「情報」です  
 これがあって初めて普通の「情報」が活きていきます  
 風と土 すなわち来訪者と居住者が交流して  
 まちの「色」特徴が生まれ これがその土地の「風土」になります  
 そんなまちの「光」を集めて「楽しむ=観る」のが観光です  
 それを実現するのがまちあいの「i」の目的です

次週は、旅行業者が迎え入れる者として成功する可能性について述べてみたい。

(次号に続く)

### ののやま・かつら

NPO法人まちづくり観光機構理事長。HISの特約代理店(株)夢屋、(株)オデッセイ(添乗員派遣会社)のまど(旅専門の書店)などを経営する。地元・吉祥寺(武蔵野市)を愛し、地域に根差したビジネスモデルの構築を目指す。